

わが心の千葉

今回、無縁寺心澄(むえんじ しんちょう 本名・藤井茂樹 1905 - 45)の作品を中心に、「わが心の千葉」を開催します。

無縁寺心澄は昭和戦前期に千葉市を中心として活動した画家です。1926(大正15/昭和元)年に川端画学校を卒業し、主に水彩やテンペラ画を制作していました。28年、第9回帝国美術院展覧会第2部(洋画)に初入選し、30年には日本水彩画会会員となりました。画学校卒業後三年ばかりの間は東京の図案会社に勤務していましたが、退職後は制作に取り組む他、36年に千葉県美術協会の設立に参加、運営に尽力しました。



《千葉中時計台》無縁寺心澄 1927-1945年頃

市内浜野町にお住まいだった無縁寺心澄のいここにあたる故・白井三郎氏は、おじから託された無縁寺の作品を多数愛蔵しておられました。生前の氏は中学校の美術教師を勤めながら無縁寺の遺作展を開くなど画家の顕彰に努め、美術館開館前の千葉市に1,000点近い作品を一括御寄贈下さりました。その大部分が千葉市内を中心とする風景画であり、その画風は対象を大づかみにつかまえ、速い筆の運びで一気に仕上げている作品に端的に現れています。

無縁寺の作品は、ありし日の千葉をしのぶ資料でもあります。昨年当館は千葉立郷土博物館を会場として同館と共同で「無縁寺心澄の描いた千葉～絵と写真で見る戦前の千葉～」を開催しました。その折、当時の写真や地図を併せて展示することで、無縁寺が描いた千葉を立体的に紹介し、多くの来場者の皆様から御高評をいただきました。

無縁寺が千葉を描いていたちょうどその頃、田中一村が千葉に住んでいました。今回は市内外から来館して下さる皆様に、無縁寺の作品によって一村が住んでいた頃の千葉とはどのような土地であったかをご紹介しますと共に、終生千葉で制作を続けた画家の存在を広く知っていただきたく、今回の所蔵作品展を企画しました。

■ 会 期 2010年8月21日(土) - 9月26日(日)

■ 会 場 千葉市美術館

■ 開館時間 10:00 - 18:00

(毎週金・土は20:00まで)

* 入場受付は閉館の30分前まで

■ 休 館 日 9月6日(月)

■ 観 覧 料 一般200円(160円)

大学・高校生150円(120円)

※ ()内は団体30名以上の料金

※ 千葉市内在住60歳以上、千葉県在住の65歳以上の方、小・中学生、および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

同時開催「田中一村 新たな全貌」入場者は無料

■ 主 催 千葉市美術館

■ 本資料に関するお問い合わせおよび報道用写真のご請求は下記まで

学芸課：藁科英也 warashina@ccma-net.jp

広 報：磯野 愛 isono@ccma-net.jp

TEL. 043-221-2314(直通) FAX. 043-221-2316

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel.043-221-2311(代) <http://www.ccma-net.jp>

交通案内

- ◎ JR 千葉駅東口より
 - ・徒歩約15分
 - ・千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分
 - ・バスのりば7より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分
- ◎ 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
- ◎ 東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km 広小路交差点近く
- ◎ 地下に駐車場があります

